

## ～下記の研究を行います～

# 『テノン前転糸をレーザー切糸可能に工夫した線維柱帯 切除術の術後成績の検討』

【研究責任者】部坂 優子

【研究の目的】線維柱帯切除術でテノン嚢を前転した場合、濾過胞が限局し術後眼圧が高めになることがある。前転したテノン糸をレーザーで切糸可能にした場合の術後成績を検討すること。

【研究の期間】研究許可日～2021年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2019年3月1日から2020年2月29日の期間に、初回線維柱帯切除術（テノン前転併用）を施行された方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：性別、年齢、病型、眼圧、視力、既往歴、術式、術後合併症等

【研究の資金源】なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シオアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター  
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14  
TEL (06) 6942-1331 (代)  
研究責任者 眼科 専修医 部坂 優子